

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(共に女性, 30歳代)あり, 型別はO145(VT1)及びO157(VT1)です。本年の累積報告数は34例となっています。詳細は下記ホームページをご覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- デング熱の報告が1例(女性, 40歳代)あります。推定感染地域は国外(タヒチ, ニュージーランド)です。本年の累積報告数は8例となり, 「感染症法」が施行された平成11年4月以降, 最も多い報告数となっています。京都市においては, 平成15年以降, 毎年デング熱の報告があり, 最近では, 平成20年5例, 平成21年2例, 平成22年4例, 平成23年3例, 平成24年7例の報告があります。
- ジアルジア症の報告が1例(男性, 80歳代)あります。本年では, 初めての報告です。症状は下痢で, 推定感染地域は国内です。推定感染経路は経口感染, 水系感染となっています。
- 手足口病の定点当たり報告数は, 4.93(202例)で, 前週 4.73(194例)よりも増加しています。第30週(7月22日～7月28日)以降, 8週連続で過去5年平均値を上回っています。今後の動向にご注意ください。
- 流行性角結膜炎の定点当たり報告数は1.90(19例)で, 2週連続で増加しています。本年で最も多い定点当たり報告数となっており, 過去5年平均値を大きく上回っています。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.68(28例)で, 前週 0.39(16例)よりも増加しています。本年で最も多い定点当たり報告数となっており, 過去5年平均値を大きく上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 34例】
- 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- 五類: ジアルジア症 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	4.93	202
	② 感染性胃腸炎	2.20	90
	③ RSウイルス感染症	0.68	28
	④ ヘルパンギーナ	0.63	26
	⑤ 水痘	0.49	20
眼科	流行性角結膜炎	1.90	19

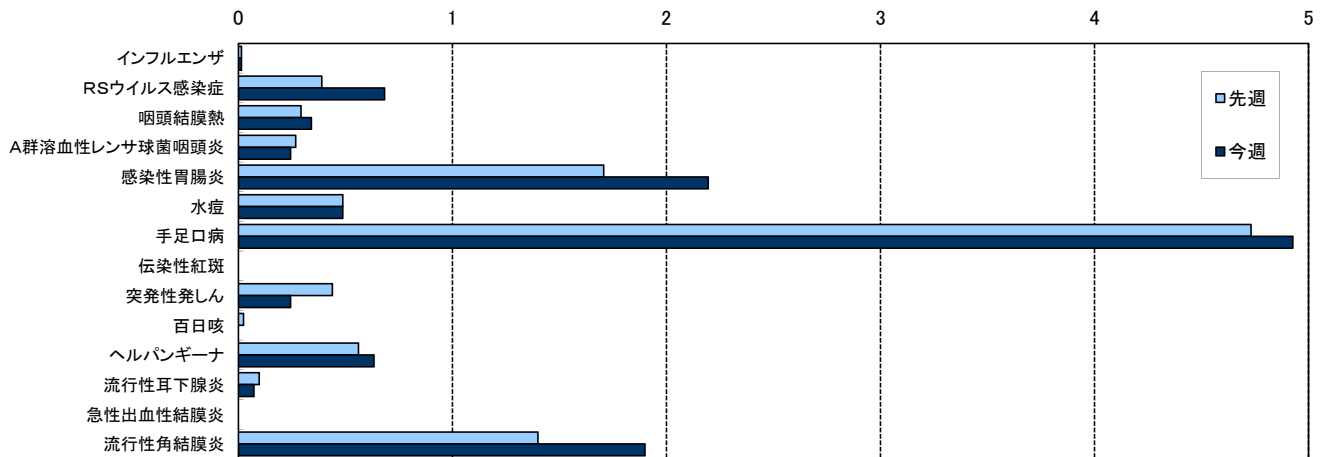
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

(注) 京都市のデータは, 平成25年9月19日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

◆ 発生状況の概況グラフ

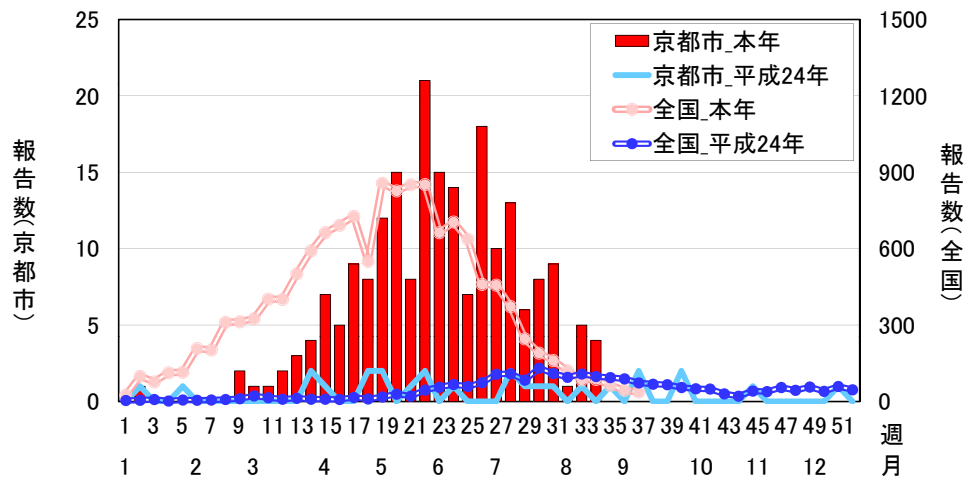
1 今週(第37週)と先週(第36週)の定点当たり報告数の比較



2 風しんの推移

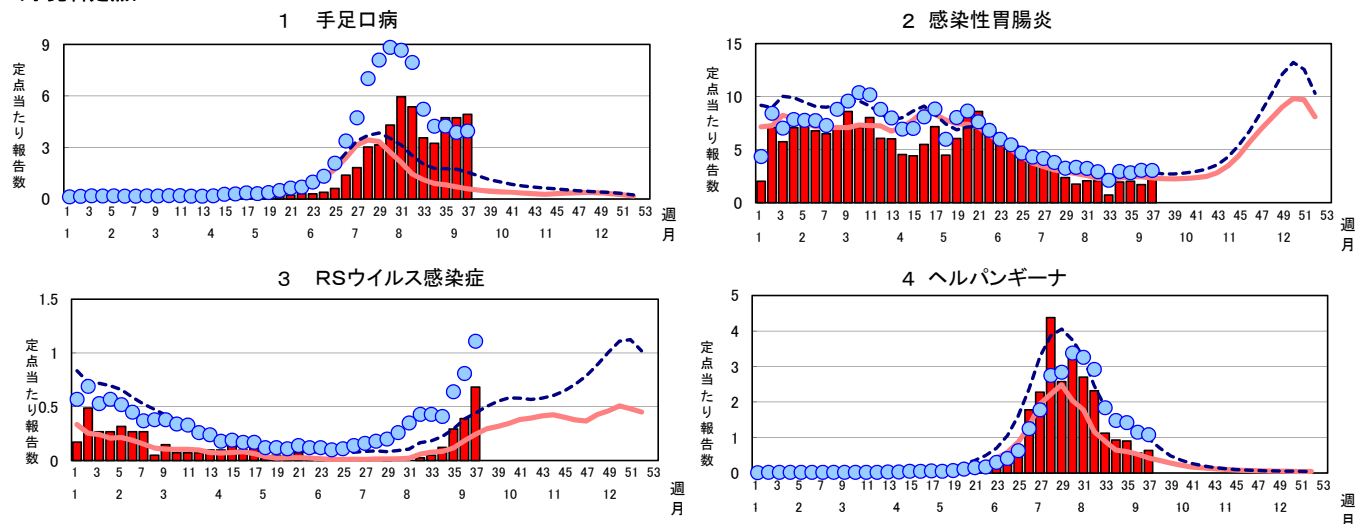
今週の報告数(累積報告数)
平成25年9月19日現在

京都市	0例 (209例)
京都府(京都市を除く)	1例 (111例)
近畿6府県	13例 (5187例)
全国	38例 (14034例)

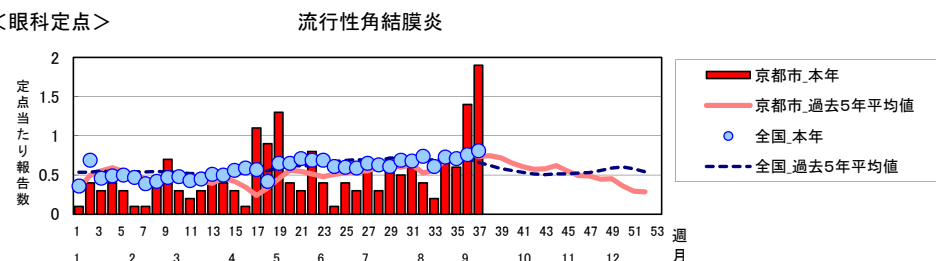


3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



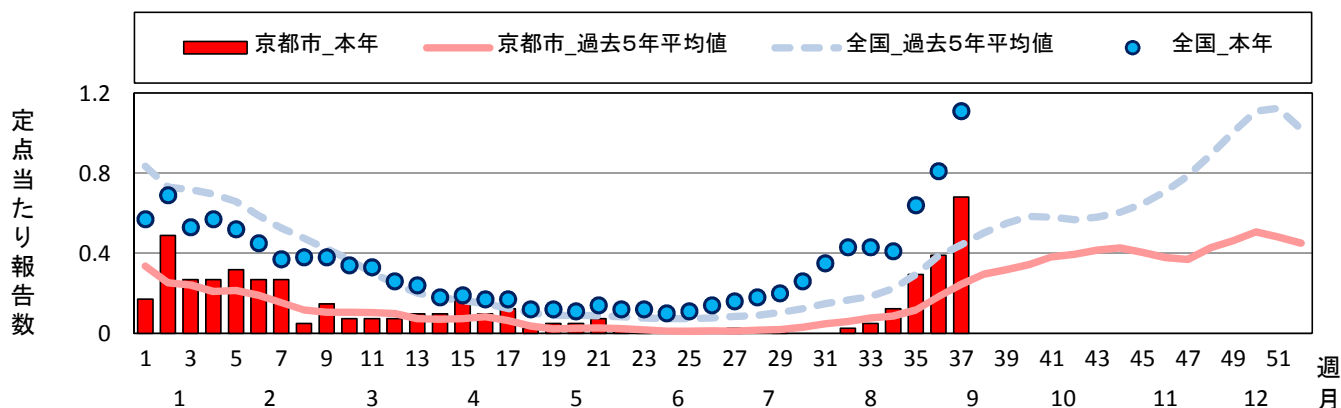
第37週(9月9日～9月15日)トピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.68(28例)で、前週 0.39(16例)よりも増加しています。本年度で最も多い定点当たり報告数となっており、過去5年平均値を大きく上回っています。また、「感染症法」において定点把握対象に指定された平成16年以降の同時期と比較して、最も多かった平成24年に次ぐ報告数となっています。

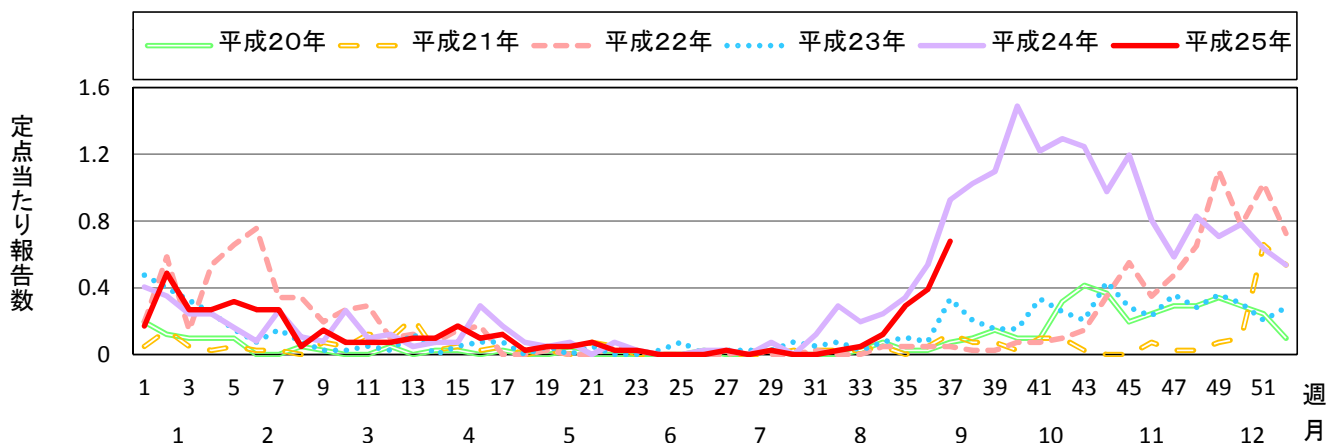
平成22年まで秋から冬にかけて流行していましたが、平成23年、平成24年と2年連続して夏頃から報告数が増加しており、本年も第32週(8月5日～8月11日)以降、6週連続で増加しています。今後の動向にご注意ください。

全国でも3週連続で増加しており、都道府県別では、47都道府県中44都道府県で前週より増加しています。

京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



京都市の定点当たり報告数の推移



都道府県別定点当たり報告数の推移

